

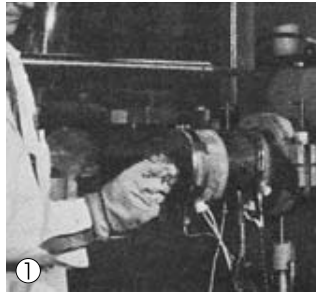
コパーゴーズ

METEX社の“コパーゴーズ”はプラスチック加工機の清浄に大きな威力を発揮します。

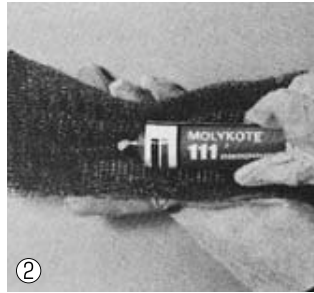
コパーゴーズを使った プラスチック押出し機 の新しい1時間清浄方法

複式押出機(63.5mm径
×1,524mm長)の清浄

この作業は、全て金属表面が熱い間に行なわれます。先ず、押出し機のレジンをきれいに取り去るため、コンパウンドを使用します。



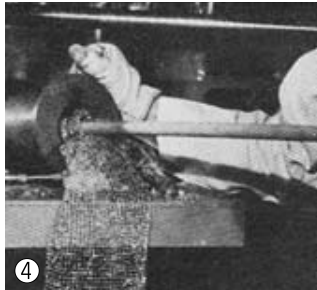
小さいボール状にしたコパーゴーズに少量のシリコンコンパウンドをぬりダイス表面の“よだれ”を除去します。



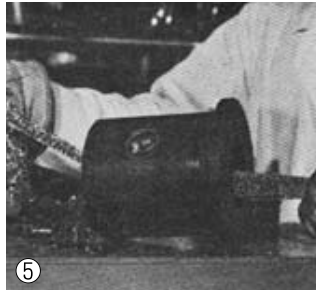
コパーゴーズの表面に、ごく少量のシリコンコンパウンドをできるだけ薄く塗ってください。



まだ熱いバルブを完全に清浄しています。



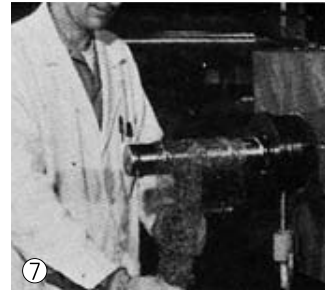
ダイスを押出し機からはずし、シリコンを塗ったコパーゴーズを木製の棒を使って、ダイスの穴へ通し込んでいきます。



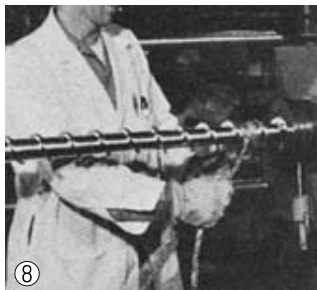
ダイスの穴に通し込んだコパーゴーズを、前後に動かし、ピストン運動をくりかえします。



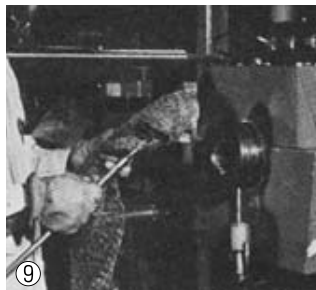
きれいに清浄されたダイスの端面です。プラスチックのこん跡は全くなく、金属表面のひっかきキズもありません。



高温状態のスクリーの一部を引き出して、シリコンコンパウンドのついたコパーゴーズを2~3回まきつけて、“くつみがき”の要領で何回もこすります。



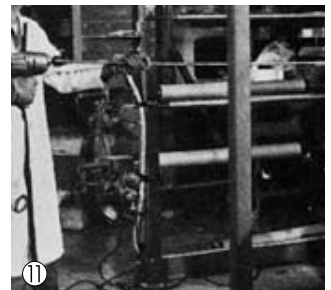
すみずみまで清浄されたスクリーです。この作業に5分もかかりません。



長い棒の先についている丸型ワイヤーブラシにコパーゴーズをまきつけて、バレルを掃除します。ここでシリコンコンパウンドを再塗布します。



バレルに1回コパーゴーズを通した後の写真です。多くの量が除去されているのがわかります。



ドリルに取りつけたワイヤーブラシに、シリコンコンパウンドをぬった新しいコパーゴーズをまきつけ、完全に掃除します。

METEX コパーゴーズ:(114mm幅×122m長で1巻です。)

モリコート®111コンパウンド:5.3オンスチューブ
(5.3オンスは150グラムです。)

